

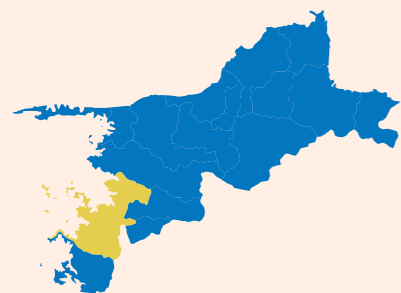


# UWAJIMA CITY

自然の恵みがあふれる、  
人温かいまち。

# 宇和島市

Uwajima, Ehime



人口約70,000人と、愛媛県南予地域で最大のまち。宇和島城の旧城下町で、闘牛や祭りなど独特の伝統・文化が息づく。沿岸部は宇和海に面したりアス式海岸が続き、その地の利を生かした鯛や真珠などの養殖業、柑橘栽培がさかん。内陸部では、肥沃な大地がはぐくむ田園風景が点在する。人とのつながりや風景の豊かさといった“田舎”暮らしの良さと便利な暮らしの“いいとこ取り”をしたい人に特におすすめ。



宇和島駅前に  
ワシントンヤシ!



まちのシンボル  
「宇和島城」



中心部から車で10分ほどの「九島(くしま)」。



九島を体験できるごはん屋で  
宇和島の魅力を味わって~  
(移住者の水野さん)



タイヤブリといった魚の養殖が盛ん。



真珠の養殖業をしています。  
宇和島の真珠は美しいですよ  
(津島町の中村さん夫妻)



柑橘の名産地・宇和島市吉田町。  
若者の生産者も多い。

柑橘栽培に観光やカルチャーを  
ミックスしながら楽しみたい!  
(移住者の若松さん夫妻  
& 東京のお友だち(右))

とっても温かい  
人たばかり  
(移住者の二宮さん)

お花屋さん!



余白がある“田舎”は、  
挑戦しがいがありますよ  
(移住者の高山さん夫妻)



地元で愛される「和霊神社」。  
壮大な「和霊大祭」も有名。

わたしも「みま米」よ!



「みま米」は甘くてもっちり



みかんはもうもの~!



注文後にさばく  
お魚屋さんも多い



明るい農村!



移住者も多い御横(みまき)地区。移住者の黒田さんが営むカフェ&オーガニック食品の店「福田百貨店」もある。

大竹伸朗の  
カプセルトイレ、  
あちこちに



岩松川がはぐくむ、  
岩松地区のレトロな町並み。

中心地にある、子育て支援施設、図書館などが入る「パフィオウわじま」。宇和島在住の現代アーティスト・大竹伸朗さんの作品などを集めた「大竹文庫」も。





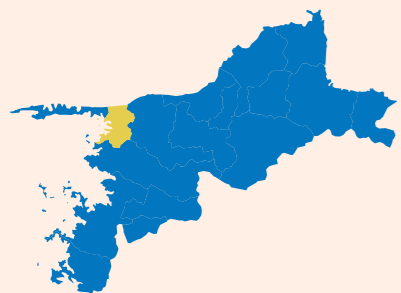


# YAWATAHAMA CITY

人も地域も、“そと”へ気持ちが  
ひらかれたまち。

# 八幡浜市

Yawatahama, Ehime



四国の最西端に伸びる佐田岬半島。その付け根に位置する八幡浜市は、宇和海と瀬戸内海の二つの海に面した温暖なまち。フェリーが往来する八幡浜港があり、水産業もさかん。九州と船が往来する港町は、人もまちもオープンな気質。海に面して柑橘の段々畑が広がり、県内屈指のブランド産地でもある。柑橘の就農支援が手厚く、産地の一体感もある。柑橘栽培をしたい人や魚好きな人には特におすすめ。

<https://yawatahama-iju.com/>



海に面して段々畑が広がる、八幡浜特有の風景。

「八幡浜みなと」は鮮魚&野菜&特産品がそろった食のパラダイス。



西日本一の規模を誇る魚市場「どーや市場」で、競り落とされたばかりの魚を安値でゲット。

人がとってもおもしろくてワクワクが止まらないまちですよ(八幡浜みなと館長の木村さん)



穏やかな波でSUP!!!



穏やかで美しい、大好きな瀬戸内海のそばで暮らしてます(移住者の中野さん)



中心地のアーケード街は、昭和レトロがあちこちに。



市民文化活動センターComican(コミカン)&八幡浜市美術館。市民活動が活発。

黒いポスト&自販機。商店街で見つけてね♡



「みなと湯」と「大正湯」。どっちの湯が好き?

一緒に“やりたいこと”やりましょ〜(地元の濱田さん)



ゲストハウス、コワーキングスペースなどを運営する「コダテル」。移住希望者の利用が多い。



干潮時、陸とつながる「ねずみ島」は隠れた人気スポット。

人がとってもおおらか!“八幡浜じかん”が心地よい〜(移住者の藤田さん)



手厚い支援で柑橘農家になりました!(移住者の長澤さん)

八幡浜は、「日の丸」や「真穴」など有名柑橘ブランドがある産地。



四国有数の漁港「八幡浜漁港」を筆頭に、各地に漁港がある。



名物じゃこてん、店ごといろいろ♪



どの店もおいしいよ〜(はまぼん)



八幡浜ちゃんぼん PRキャラクター「はまぼん」

子育てしやすいまちで、ITの仕事をテレワーク中(移住者の張さん)



あちこちに石垣があるよ





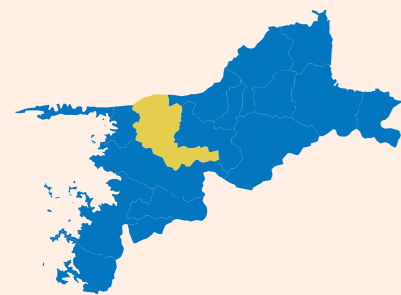


# OZU CITY

“古き良き”に、いまの感性がプラスされるまち。

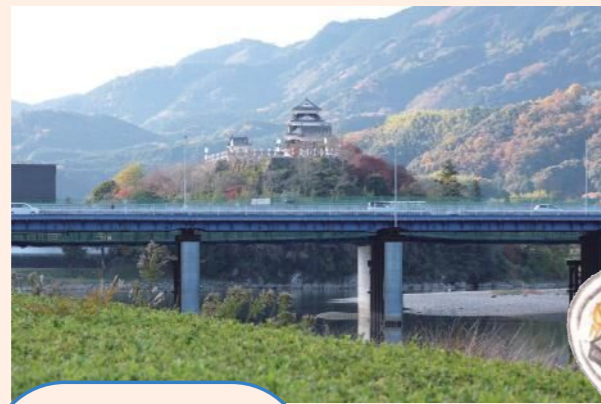
# 大洲市

Ozu, Ehime



肱(ひじ)川沿いにまちがひろがる愛媛県大洲市。中心部は、商業施設がそろっており生活がしやすく、城下町の風情が残るエリアでは古民家再生で県内外から注目を浴びる。その他、清流の恵みと山の幸が豊富な山あいのエリア、昔ながらの風情が漂う海のエリアと多様な風土があるのも特徴。観光業に力を入れており、独自の農業政策も熱い。田舎過ぎない暮らしを求める人にもどっぷり田舎の良さを求める人にもおすすめ。

<https://www.city.ozu.ehime.jp/site/iju-teiju/>



シンボル「大洲城」。  
城下町の雰囲気がまちに残る。



みんなで囲む名物  
「いもたき」



おもしろい農業に  
挑戦できますよ  
(移住者の中村さん)

ふぐがおいしいよ～

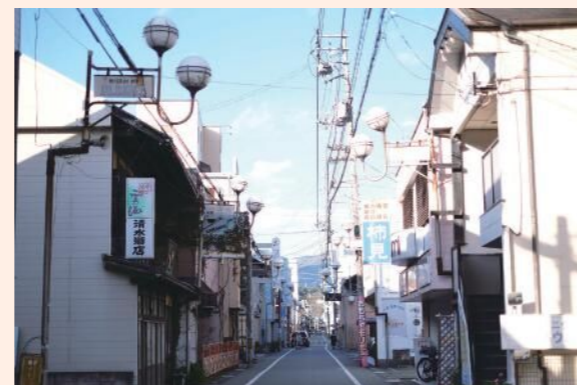


長浜地区の魚屋さん。  
店に海水を引いたけすがある。

長屋を生かし、4つの店が連なる。  
週末は観光客で大にぎわい。



古民家を生かしたゲストハウス。まちぐるみの古民家再生が進む。



昭和レトロな建物が点在する中心地。



肱川沿いの畑には、小さな木がちよこちよこ。  
「境木」と呼ぶ、昔の境界の印。

居住地、農地、商業地ときれいに整理されているのが中心地の特徴。



県内屈指の人気と規模を誇る産直市。くだもの、野菜が美味&豊富&安い！



肱川エリアの“不便”という豊かさを味わって  
(「風の博物館」館長代理の河野さん)

みなさんよく笑う！  
笑顔がいっぱい！  
(移住者の岡本さん)



肱川名物  
文楽もなか



新鮮でおいしい野菜がたくさん♪



肱川沿いに点々と集落がある。



大洲唯一の造り酒屋は愛媛で人気の酒蔵。



銭湯もいい味！



中心部は盆地なので、冬は早朝、霧がまちを包む。

清流が美しい風景をつくる河辺エリア。「屋根付き橋」が点在。





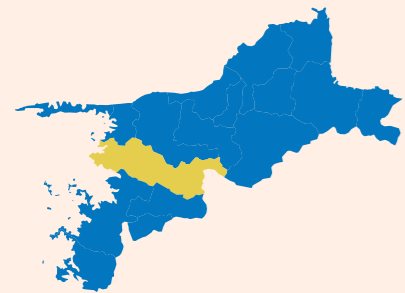


# SEIYO CITY

海山の幸と風景と人と、  
すべてに恵まれたまち。

# 西予市

Seiyo, Ehime



愛媛県の南西部に位置する西予市は、宇和海から四国カルストまで標高差1400mが生みだす、壮大な風景と食に恵まれるまち。肥沃な宇和盆地が育むお米や、海に向かってひらく園地が育む柑橘をはじめ、種類が尽きないほどたくさんのお山の幸がある。四国遍路の“お接待”文化が息づくため、人が穏やかで温かい気質なものも特徴。不便さを感じず、のんびり地方暮らしをしたい人に特におすすめ。

<https://www.city.seiyo.ehime.jp/ijyu>



標高約200mの「宇和盆地」に広がる、西予市の中心地。

野菜も魚も安い♪



海山の幸に恵まれる西予市の、食の豊かさを体感する「道の駅どんぶり館」。



宇和地区から山を越えれば三瓶地区。宇和海のそばに息づく小さな港町。



JR卯之町駅前の複合施設「ゆるりあん」。まちと人と交流できたり、西予のおいしいものに出会えたり。



西予の風景と食材の豊かさをめしあがれ (Uターン者の藤川さん)



郊外にはいたるところに酪農家が。

城川地区と野村地区をまたぐカルスト台地 大野ヶ原。牛の放牧もしている絶景スポット。



人生観が変わるような、おもしろい野村に遊びに来て♡ (移住者のシーバースさん)



宇和町卯之町の伝統的な町並み。四国最古級の小学校なども残されている。



柑橘産地の明浜地区。産地を盛り上げる若者の姿が目立つ。

仲間と楽しくやっています! (地元の柑橘栽培グループ)



お米がおいしいよ~

人と人とのつながりが濃いですよ~ (移住者の小林さん)

田畑の風景がどこまでも続く宇和地区。田んぼに立つワラマンモスはまちの人気者。



ここに座っておしゃべりするんよ♪

商店街みんなで野村を盛り上げています! (地元の谷本さん)



相撲とお酒が好きなまち・野村地区。乙亥(おとい)会館では160年以上続く伝統の「乙亥大相撲」が開催される。



城川地区を中心に「茶堂」が点在。かつてお運路さんを“お接待”していた場所。





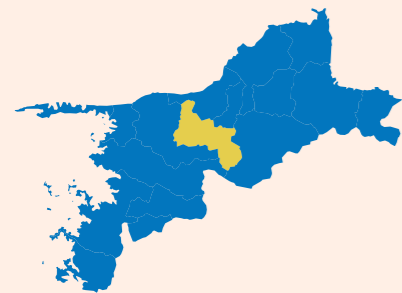


# UCHIKO TOWN

人々のゆたかな暮らしが、風景に現れるまち。

# 内子町

Uchiko, Kitagun, Ehime



愛媛県のほぼ真ん中に位置する山あいの内子町。和蠟燭や大洲和紙といった伝統産業や、芝居小屋「内子座」をはじめとした独自の文化を現代に大切につなぐまち。その姿勢は暮らしにも現れ、町並みや村並みなど、人々の日々の営みが美しい風景をつくっている。若い世代の移住者が目立ち、小田地区や御蔵（みそぎ）地区、石畳地区といった山深い場所で、地域の人たちと一緒に廃校や古民家を活用した新しいモノ・コトを生みだしている。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/site/ijyu/>

暮らす人たちが生みだす美しい風景も味わって～  
(移住者の武藤さん)

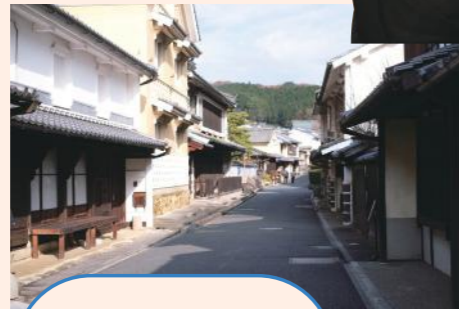


手作りの石窯で、自家製酵母パンを作っている週1販売の人気パン屋さん。



清流沿いにある「内子フレッシュパークからり」。果物、野菜、加工品など内子町の食のレベルの高さを知る県内屈指の人気「道の駅」。

移住を考える人は、伝統的な町並みにあるゲストハウスに泊まって、ディナーに古民家ドイツレストラン（移住者のデルクセン夫妻が営む）を利用するのが「人気コース」。



まちと“外”をつなぐゲストハウスをやっています  
(移住者の山内さん)



伝統的な町並みには、和蠟燭屋、パン屋、ランプ屋、カフェなどの店舗が。子どもたちの通学路でもある。



内子町の中心地の商店街。山あいにあるとは思えないほどのスケール感。

中心地にある coworking space。内子町には、地域活動の拠点になるワークスポットが点在。



田畑を見下ろすように人家がある。庭や道で花を育てる人が多い。

大瀬郵便局は世襲制で現在6代目。局長は落語家としても活動中  
(大瀬郵便局長の城戸さん)



大江健三郎のふるさとで知られる内子町大瀬・成留屋地区。山深い所に立派な町並みがあるのも内子の特徴。



無人販売所の「カキ小屋」  
(牡蠣じゃなくて柿!)



ようこそ「どい書店」へ!



里山的美観と夕景を一望できる、野村地区の「夕陽の丘」。のんびりとつろげる展望台もある。



若者の移住者が相次ぐ小田地区。そのキーマンが移住者の岡山さん(写真左)



地元民にも愛される、小田地区の名物「たらいうどん」



里山エリアにある屋根付き橋。風情のある橋が里山の景色に溶け込む



ここは里山がイキイキしています。移住者同士のつながりも深いですよ  
(移住者の熊野さん(左)と小山田さん)



「折り紙自販機」も探してみよう  
(「折り紙自販機」仕掛け人の大森さん(左))



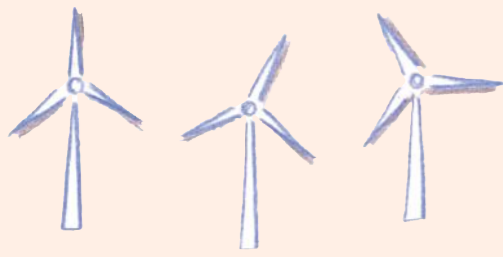
炭焼きや米作り、花植えなど里山の景観づくりに尽くす上岡さん。住居や農作業の相談にも乗ってくれる、移住者にとって頼れる存在。  
(地元の上岡さん)



個性的な店がそろった御蔵(みそぎ)地区の新しい名所「みそぎの里」は、閉校の小学校を活用。





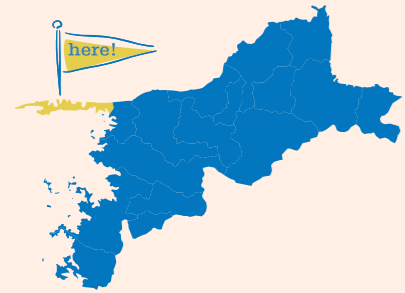


# IKATA TOWN

半島の自然と共に、  
たくましく、温かく暮らすまち。

# 伊方町

Ikata,  
Nishiuwagun, Ehime



四国の最西端にある、日本一細長い佐田岬(さだみさき)半島。伊方町はこの半島全域にあたる。“付け根”付近が町の中心地で、町役場などまちの機能が集まる。半島の屋根には強い風を生かした風力発電の風車が立ち並ぶ。“屋根”を走る国道からつづら折りにくだった海沿いに集落が点在。半島南側の集落の先には白砂のビーチと透明度の高い海が広がり、海好きにはたまらない環境。民宿が多いのも特徴。

<https://www.town.ikata.ehime.jp/site/iju-teiju/>

町のイメージキャラクター  
サダンディ&チビダンディ



幸せさがしに来てね♪



古い布を裂いて丈夫な布に再生する「裂織り(さきおり)」。橋田さんは二名津地区で、世界へ裂織りを広める活動もしている。

ゲストハウスの  
“女将”をしています  
(移住者の橋田さん)



狭い道路が特徴的な二名津の風景。昔ながらの風情や暮らしが色濃く残る。

佐田岬半島の“屋根”には、風車が立ち並ぶ。  
サイクリングやツーリングを楽しむ人も多い。



みかんやサツマイモなど、  
おいしいものがいっぱい



町発祥の  
「じゃこカツ」は絶品!



伊方町は、海に  
突き出した半島です~



移動販売車でお買い物♪



海沿いにある夏の人気レジャースポット「室鼻公園」。キャンプもできる。

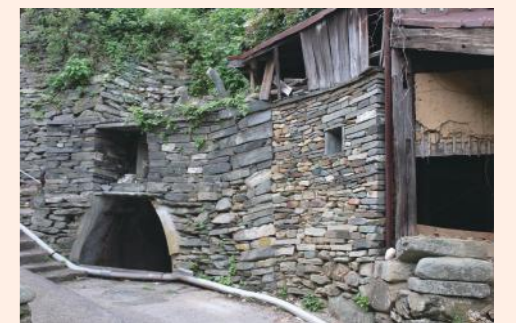
仕事をしながら  
養蜂もしています。  
(地元の清家さん)



入り江にある町の中心部。町役場  
から海までの距離は100メートルほど。



きれいな海がすぐそばに  
あるって最高!  
(移住者の田中さん)



畑、民家、道路脇などあちこちに石垣がある。  
写真下は有名な「名取の石垣」の一部。

全国各地から生徒が集まる県立の三崎高校。  
自主性を育む教育方針で人気がある。



伊方町には漁港が点在。  
特産品シラスをはじめ、多  
様な海の幸に恵まれる。





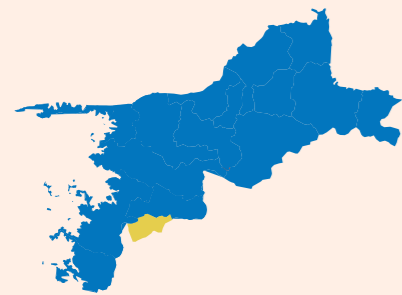


# MATSUNO TOWN

新しい地方暮らしを  
味わえるまち。

# 松野町

Matsuno,  
Kitauwagun, Ehime



愛媛県の南東にある山あいのまち・松野町。町がとなえる「森の国」のキャッチフレーズが象徴するように8割以上を森林が占める。町に流れる広見川が食べ物やレジャーなど、松野のゆたかな暮らしと風景をつくっている。4000人ほどの人口を維持して地域の未来を守るため、移住・交流人口関係、環境・資源関係などで先進的な政策に取り組むのも特徴。里山暮らしの中にも「刺激」を求める人におすすめ。

<https://www.town.matsuno.ehime.jp>



NEW!!  
町役場



町立松野中学校は、木造平家の開放的な建物。

絶景の、奥内の棚田。中でも「遊鶴羽(ゆづりは)の棚田」は「日本の棚田百選」。



みなさん本当に温かく接してくれます(移住者の増沢さん(右)と、地元農家の金谷さん)



松野のジビエ加工はハイレベル!



道の駅 虹の森公園 まつものには、地元の野菜などが並ぶ産直市もある。



田んぼが広がる延野々(のびのび)地区。風景に癒される～



ホビートレイン♪



満天の星に感激しました!(移住者の松本さん)



週に一度の、軒先産直市。弁当も安い!



まちの通りには、宿場町の名残が感じられる建物が点在する。



気持ちのいい風が抜ける広見川一帯。



松野の山奥に人気のロッジがあり、そのスタッフを中心に移住者が多い。岸本さんは地域おこし協力隊を経てパン屋(大人気!)の店長に。



目黒地区は空気も風景も清らか～



農家民宿でのんびりしてくださいね～(地元の芝さん夫妻)



松野町には農家民宿が各エリアに点在。ぜひ農家民宿を利用して見て。

畦道に立つ案内板

いもたき →



広見川で「いもたき」。松野は名物ツガニをイン。



ツガニはおいしいよ



町民が持ち込んだ木も買い取ってくれる、森を守る仕組みの「森の国まきステーション」。町内にある「森の国ぽっぽ温泉」はこの薪が燃料。

森の国まきステーション

気軽においでね～～(地元の中宇瀬さん)



町の中心部にあるカフェレストラン。オーナーの中宇瀬さんは移住者の心の支えに。

地域の英会話教室。なんと無料!!





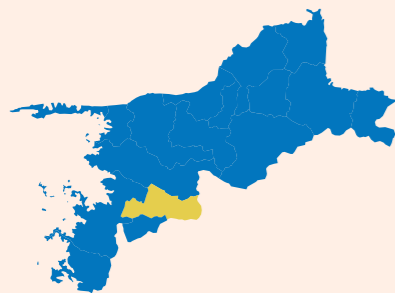


# KIHOKU TOWN

ゆたかな自然と  
人の温もりにあふれる、  
山あいのまち。

## 鬼北町

Kihoku,  
Kitauwagun, ehime



愛媛県の南側にある、人口1万人ほどの山あいのまち・鬼北町。林業、農業がさかんで、特にユズが特産。町内にある2つの道の駅「広見森の三角ぼうし」「日吉夢産地」には、新鮮でおいしい野菜がズラリと並び、旬を求めて遠方からも多くの人々が訪れる。町名に鬼がつく全国唯一の自治体であることから、鬼にちなんだモノにあふれる。おだやかで温かい気質の鬼北町はのんびり里山暮らしをしたい、農業がしたい人に特におすすめ。

<https://www.town.kihoku.ehime.jp>

田んぼの風景が、  
季節の移り変わりを  
教えてくれるよ♪



予土線の一両編成の車両に、学生さんが乗り降りする姿は鬼北らしい風景。



中心地も、山深い場所も、昭和レトロな雰囲気を残す町並みがある。



道の駅 広見森の三角ぼうし  
にある「鬼王丸(きおうまる)」

道の駅 日吉夢産地にある  
「柚鬼媛(ゆきひめ)」



道の駅の巨大モニュメント、  
建物の壁、加工品やお米の  
名前と、まちのあちこちに  
“鬼”を発見。



海はないまちだけれど、おいしくて安い魚が手に入ります。移動販売車も集落を駆け抜けます。

里山の何気ない風景の美しさや、  
人と人とのつながりの深さや、  
優しさに感動！  
(移住者の早川さん)



まちも先輩農家さんも  
みなさん温かく応援してくれるので  
ありがたいです～  
(移住者のイチゴ農家・池添さん夫妻)



ゆずを育てている山奥の段畑は、  
「鬼北のマチュピチュ」と  
呼ばれています  
(地元の段畑のオーナー・那須さん)

美しい里山に集落が点在する。木漏れ日が映える山道の先に、そうめん流しや渓谷など名所がある。



ユズ、しいたけ、梅など  
いろんなものを作っている  
“お百姓さん”が多いですよ。  
楽しんで暮らしています！  
(地元農家の兵頭さん(左)と青木さん)



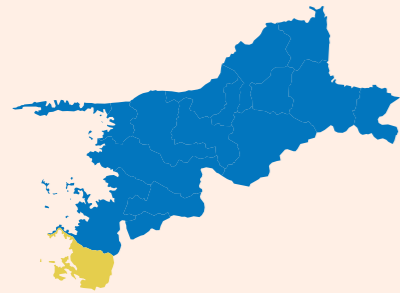


# AINAN TOWN

ゆたかな自然が、暮らしのそばにあるまち。

# 愛南町

Ainan, Minamiuwagon, Ehime



愛媛県の最南端にある、高知県と隣り合う愛南町。お酒文化やカツオといった食文化も高知と共通するものが多く、カツオや牡蠣を筆頭に、一年中おいしい海の幸が手に入る。温暖な気候で、海水の透明度も高く、釣り、サップ、スキューバダイビングなどマリレジャーもさかん。人懐っこく明るい南国気質のため、人と人のつながりが濃いのも特徴。「人が好き」「自然が好き」「お酒が好き」な方に特におすすめ。

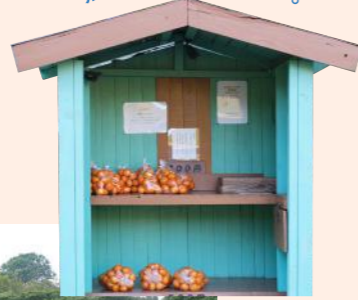


愛南町には、スナックがいっぱい。人と人のつながりの濃さを知る社交の場が大好き！  
(移住者の関根さん)



海岸沿いに「かき小屋」や真珠の作業小屋、民家がぎゅぎゅっと！

無人販売所が点々と。



須ノ川公園キャンプ場は、冬でもテントが並ぶ名スポット。



いろんなマリンスポーツが楽しめるよ



河内晩柑、おいしいですよ〜。伝道師として魅力を伝えています  
(移住者の中本さん)



スーパー林道からの眺め！



すりみがこんな状態で売られている。各家庭で小分けにして揚げたてを。



緑新鮮市には、複数の魚屋さんがずらっと並ぶ。地元の野菜や希少なブランド地鶏も。



愛南の食材は本当に豊かですよ〜！  
(移住者の片平さん)



海、川、森は町民にとって遊びのフィールド。緑地区は特に、移住者と地元民の交流が深い。



待ってるよ〜!!



カツオの水揚げで有名な深浦漁港内にある食堂。新鮮でおいしい！



外泊の入江にある「石垣の里」。びっくりするほど巨大な石垣群に暮らしが根付く。



中心地のレトロな商店街。愛南町の庁舎はきれいで立派！



おいでな〜し!

愛南町ご当地キャラクターな〜しくん



町の中心地にある道の駅「みしょうMIC」は愛南産の野菜、魚が並ぶ。



牡蠣シーズンは、各家庭で牡蠣BBQ

愛南真鯛を育てています。おいしいですよ〜



里山の風景が広がる「一本松」地域。町民御用達の温泉と産直市もある。